

立花高等学校での取り組み

平成27年2月10日(火)
学校法人 立花学園 立花高等学校

1

立花高校とは？

不登校を克服する学校

ではありません

不登校生徒が安心して不登校でいられる学校

です

2

本校の概要

全日制高等学校

- 単位制普通科
- 全校生徒数480名（平成26年12月現在）
- 教職員数59名
- 今年で創立57年
- 2期制（春秋2回の入学・卒業）
前期：04月～09月
後期：10月～03月
- 学級担任制
- 少人数の学級編成



3

立花高等学校の考え方

できないことを嘆くより

できていることを認めていこう！！

（パイルアップの発想）

まわり道でいいさ

（生徒・保護者のすべてを受容する）



共感的理解から始まる、生徒・保護者との
人間関係作り

4

一年次の状況 (発達障がい)

【平成26年度入学生148名が対象】

- 学習障害(LD)
の診断がある生徒 7名
- 注意欠陥・多動性障害(ADHD)
の診断がある生徒 9名
- 高機能広汎性発達障害(高機能PDD)
の診断がある生徒 2名
- その他の診断がある生徒
統合失調症 1名 知的障害+LD 2名

5

一年次の状況

(発達障がいと思われる生徒)

- 学習障害(LD)
と思われる生徒 29名
- 注意欠陥・多動性障害(ADHD)
と思われる生徒 26名
- 高機能広汎性発達障害(高機能PDD)
と思われる生徒 11名

6

一年次の状況

(中学校時代の欠席日数)

- 年間30日以上欠席のあった生徒
80名(54.1%)
- 年間100日以上欠席のあった生徒
60名(40.5%)

7

具体的な実践

8

登校へのステップ

サポート学級の開設

- ・学校内でも生徒が安心して過ごせる居場所

学校外教室での授業実施

- ・福岡市近郊5か所で17時半～19時実施

各種スクーリングの実施

- ・土曜日の午後、長期休業中

各々の段階の応じて
自信をつけるためのワンステップ

9



10



11



12



13



14

授業の工夫

学校設定科目を活用したワールドの実施



教科の枠を超えた
生徒のニーズに適った授業を
提供していきたい

15



16



17



18

デュアルシステムコースの導入

卒業後、就職を希望する生徒が選択

- 長期職場体験実習を実施(前期3週間・後期4週間)
- 金曜日午前中4コマの体験学習を5つの中から選択
- 国語・数学・英語は習熟度別に分かれての授業体制
特に初級はTT(チームティーチングの状態を確保)

“働くことの喜び”を知る

“生活をより充実させるための
基礎学力”の定着



卒業後の自分自身を描ききっかけ作り

19

一つの成功例

A君(アスペルガー症候群)のお手柄
発達障害の特性を生かした貢献



大人の不安も大きかったのですが
生徒の可能性を信じて
やらせてみることの大切さを
教員側が実感

20



21



22



23

セーフティネットとして
“できる”ことを前提としてではなく
“できなくても良い”という安心感
↓
例えば
長期職場実習に参加できない生徒に対して
校内で模擬職場実習を実施(内職班・レストラン班)
↓
その生徒が「できる」手段を準備する

24

信じてやらせて → 認めて誉めて →
自信と自己有用感へ → 次への原動力に

一人の子を粗末にするとき
教育はその光を失う

創設者 安部 清美 先生

25

ご清聴
ありがとうございました

26